

うなぎのなぞを追って①

1 / 20 (水) 3H

本時のキーワード：単元の目標、目的意識、相手意識、共通の目標

1 単元の目標を話し合う (←単元で何をするか話し合う過程を通して、何をどうするか見通しをもたせる。)

- ・単元の目標を決めること (目的意識)

科学読み物をしょうかいしよう! (めざせ貸し出し100冊!)

図書館から科学読み物を借りた経験があるか?・・・ある2人

どれくらいの貸し出しを目標とするか・・・主張—理由—根拠を使った話し合いを意識付け

- ・紹介する相手を決めること (相手意識)

4年生・・・同じ学習をする同学年の人たちに、科学読み物に興味を持ってもらいたい。

なぜその学年に向けてなのかを考えることで、学習の必然性 (伝える理由) を考えさせる。

2 具体物について話し合う (共通の目標を立てる)

- ・具体物の字数を決めること

感動したこと・・・100字

呼びかけ・・・100字

紹介文 (要約文)・・・200字

子どもたちの理由

- ・文量が適当か。(読み手に伝えるために内容と量を経験の中から考えさせる。)

※ 自分たちで話し合っただけで決めることで、要約学習中に自分たちが思考する (伝えることに照らし合わせて、何を残し何を削るか) 基準をもたせる。←要約する量の基準

単元を学習する中で子どもたちが交流するときの基準となる。

3 前に集まって話し合い

- ・場の構成 (話し合いやすい雰囲気作り、意見の出し方、聞き方、反応の仕方等の指導)
- ・主張—根拠—理由

友達の意見に反応すること (意見を聞いて、自分は賛成反対のどちらなのか立場を明確に)

思いつきの意見をなくす

全員の納得を確認しつつ進める (全員共通の意見を考えているので)